

「子育て支援」「防災対策」などにも予算を重点配分しました

平成20年度予算

予算の内容と、主な事業をお知らせします

● 一般会計予算の概要

日野町の平成20年度一般会計予算は、77億2千300万円、前年度当初予算に比べて2億3千900万円（3・0％）の減額となりました。

歳入については、町税の個人町民税は、国の「三位一体の改革」による税源移譲が平年度化したことなどを見込み1千700万円の増加を、また、固定資産税は、家屋や償却資産の増加を見込み6千100万円の増加を見込んでいます。また、法人町民税は、1千万円の増加を見込んでいますが、原油などの原材料価格の高騰による企業収益の圧迫などが懸念材料です。全体では、前年度に比べて8千800万円（2・5％）の増加となっています。

地方交付税は、地方の自主的・主体的な活性化施策を実現するための「地方再生対策費」が創設されたことに伴い、全国ベースで1・3％の増加となっています。この地方財政措置により、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税額は、平成15年度以来の増加となっています。

日野町においても、地方交付税は2千万円（臨時財政対策債を含めると6000万円）の増加を見込んでいます。

歳出については、「行政改革大綱」および「行政改革実施計画（集中改革プラン）」に基づき、人件費の削減をはじめ各種施策の見直しを着実に実行し、経常的な経費を削減しました。

その中で、町の最重要課題である日野中学校の改築整備をはじめ、公民館を核とした協働のまちづくり、子育て支援、長寿医療制度（後期高齢者医療制度）への対応、特産農産物の生産振興、グリーン・ツーリズムの推進、商店街の基盤整備、防災対策、小学校の施設整備など、町民の皆さんに将来の希望をもっていただけのような重点課題を優先的に推進する予算としました。

なお、歳入から歳出を差し引いた財源不足額を補うため、町の貯金である財政調整基金から約3億3千500万円を取り崩しました。

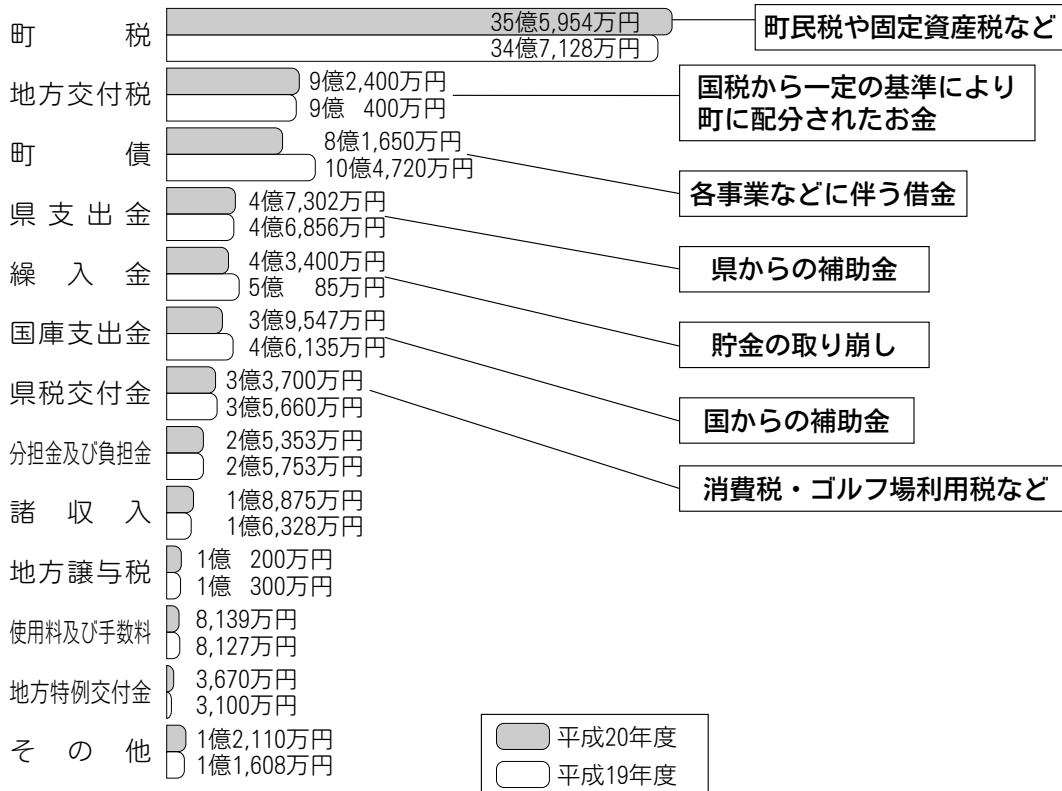
平成20年度

一般会計予算

77億

2,300万円

平成20年度一般会計歳入予算





子育て・教育

- ◆日野中学校の校舎改築、体育館・プール・グラウンド改修の設計を実施
- ◆子育て教育相談体制の強化
- ◆妊婦健診の公費負担の拡充
- ◆早期療育（児童デイサービス）事業を町単独で実施
- ◆保育料の区分見直しで母子家庭など負担を軽減

- ・日野中学校の校舎改築を平成21年3月の完成をめざし進めます。また、体育館・プール・グラウンド改修のための実施設計に取り組みます。
- ・子育て教育相談センターの機能を充実し、生徒や保護者からの相談機能、いじめや不登校などの未然防止や早期発見、早期対応ができる体制を強化します。また、特別支援教育支援員を増員します。
- ・妊婦健診の公費負担を受給券方式（2500円券12枚）に変更し、利便性を向上します。
- ・日野町単独で早期療育事業に取り組みます。発達の支援を必要とする児童およびその保護者に対して、専門的な療育を実施します。
- ・保育料の所得区分を細分化するとともに、母子家庭等の保育料を見直し、負担の軽減に努めます。

（主な事業）

（予算額）

継	日野中学校整備事業	7億6,183万円
新	日野中学校体育館等整備事業	1,011万円
新	早期療育（児童デイサービス）事業	663万円
拡	児童健全育成事業（学童保育）	1,686万円
拡	教育相談・子ども支援活動事業	701万円
拡	子育て学習活動推進事業	64万円
	児童手当支給事業	1億7,991万円
	保育所（公立・私立）運営事業	1億5,521万円
	母子保健事業（妊婦健診・乳幼児健診など）	1,173万円

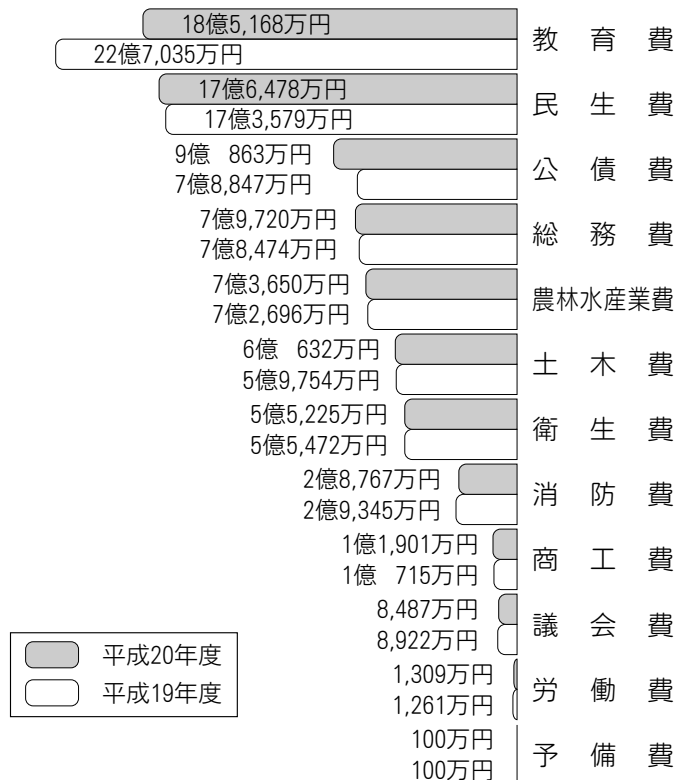


継……平成20年度継続事業 新……平成20年度新規事業 拡……平成20年度拡充事業

平成20年度各会計予算

会計名	予算額
一般会計	77億2,300万円
国民健康保険特別会計	19億7,693万円
公共下水道事業特別会計	13億5,086万円
介護保険特別会計	13億2,409万円
水道事業会計	9億5,254万円
農業集落排水事業特別会計	3億 371万円
老人保健特別会計	2億3,385万円
後期高齢者医療特別会計	2億 614万円
介護老人保健施設特別会計	6,809万円
簡易水道特別会計	1,676万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	346万円
西山財産区会計	282万円
合計	141億6,225万円

平成20年度一般会計歳出予算（目的別）



福祉・医療



◆長寿医療制度（後期高齢者医療制度）※への対応

◆生活習慣病などの早期発見と予防の取り組み

◆独居老人や障がい者住宅へ火災警報器を設置

- ・今年度から開始された長寿医療制度（後期高齢者医療制度）を実施する滋賀県後期高齢者医療広域連合への負担金を拠出するほか、後期高齢者に対する健康診断を実施します。
- ・生活習慣病やがんの予防・早期発見のための特定健康診査、保健指導などを実施します。
- ・独居老人や障がい者住宅に対する火災警報器の設置を実施します。

（主な事業）

（予算額）

新 後期高齢者医療特別会計繰出金	5,033万円
新 後期高齢者保健事業	1,528万円
新 健康増進事業	1,484万円
拡 予防接種事業	2,206万円
国民健康保険特別会計繰出金	1億1,203万円
社会福祉協議会運営事業	2,638万円
社会福祉協議会活動事業	777万円
シルバー人材センター運営事業	763万円
老人クラブ活動事業	368万円
老人保健特別会計繰出金	1,979万円
介護保険特別会計繰出金	2億 625万円
滋賀県後期高齢者医療広域連合負担金	1億7,766万円
障害者共同作業所入所助成事業	757万円
障害者自立支援事業	2億4,724万円
障害者地域生活支援事業	1,665万円
県・町単独福祉医療費助成事業	1億3,051万円



新 ……平成20年度新規事業 拡 ……平成20年度拡充事業

※平成20年4月から、老人保健制度が変わりました。75歳以上の高齢者等は、これまでの国民健康保険や被用者保険から「長寿医療制度（後期高齢者医療制度）」に加入します。

「集中改革プラン」の着実な 実行に取り組みます。

日野町では、持続可能な行財政基盤の確立を目指し、「日野町行政改革実施計画（集中改革プラン）」に基づき、行財政改革に取り組んでいます。その進捗状況については、平成17年度および平成18年度の2年間の歳出削減効果は約5億2千万円になりました。今年度は、これまでの削減効果を維持しながら、更に削減の取り組みを行います。

具体的には、引き続き実施している議員報酬の削減、特別職・職員給与の削減に加えて退職者の不補充による更なる職員数の削減（歳出削減効果4千700万円）、委託料などの施設維持管理経費の削減をはじめ、町単独補助金などの見直し（歳出削減効果300万円）を実施します。

このような取り組みを実施することにより、地域資源の活用・情報発信による地域経済活性化などの重点課題に対して、限られた財源を重点に配分するよう努めます。





産業・観光

◆都市農村交流（グリーン・ツーリズム）の推進

◆日野菜の生産振興

◆ギンザ商店街の基盤整備

◆地域経済の活性化のため住宅リフォーム助成を継続

- ・農林業体験や農家民泊などを通して町をPRし、地域の活性化を図るため、グリーン・ツーリズムの推進に積極的に取り組みます。
- ・日野町の特産物である日野菜の生産拡大、生産振興に対して助成するとともに、日野菜コンクールを開催し、日野菜の産地化と情報発信に取り組みます。
- ・商店街の基盤整備を促進し、地域の活性化を図るために、日野ギンザ商店街協同組合が実施するスピーカー付き街路灯の整備に対して、国・県とともに支援します。
- ・地域経済の活性化を図るために、個人住宅のリフォームを町内業者に発注した方に対して、経費の一部を助成します。

(主な事業)

(予算額)

新 商店街基盤施設等整備事業（商店街街路灯整備）	728万円
拡 水田農業推進対策事業	630万円
拡 特産農産物振興事業（日野菜の生産振興等）	209万円
拡 グリーン・ツーリズム推進事業	334万円
農地・水・環境保全向上対策事業	1,220万円
有害鳥獣駆除事業	638万円
森林組合への運営補助	258万円
グリム冒険の森の管理運営	1,047万円
里山整備事業	1,130万円
商工会への補助	1,418万円
住宅リフォーム促進助成事業	300万円
観光協会への補助	1,523万円



新 ……平成20年度新規事業

拡 ……平成20年度拡充事業

**住民の皆さんとともに
元気で温かいまちづくりに
取り組みます。**

国は、都市と地方の格差是正に向け、『地方再生戦略』を打ち出しました。

これは、地方の元気が日本の元気であることを基本に、地方と都市がともに支えあいながら、農山漁村集落などの地域コミュニティを再生するため、国が地方に支援をしていくものです。

町では、国の支援を活用し、お互いの顔が見える関係を活かし、人と人との絆を大切にしながら、都市農村交流（グリーン・ツーリズム）の推進などに取り組みます。

また、妊婦健診の公費負担の拡充や子育て教育相談体制の整備など、町民の皆さんの笑顔がふれる元気で温かいまちづくりに取り組みます。

今後、「地域共同体（コミュニティ）の再生による日野ルネッサンス（地域復興）の実現」をテーマに、自律のまちづくりをさらに進めていきます。





住みよいまちづくり

◆町の防災拠点施設（役場庁舎、大谷体育館）の耐震診断を実施

◆安全なまちづくり自主防犯活動の推進

◆ごみの収集、リサイクルの促進

◆木造住宅の耐震、バリアフリー化改修に対する補助

- ・災害発生時の拠点施設である役場庁舎および大谷体育館の耐震診断を実施します。
- ・地域のつながりを活かした安全・安心などの諸課題の解決に対する自主的な取り組みを支援することにより、地域の防犯対策を推進します。
- ・一般家庭から排出される可燃、不燃および資源ごみの収集運搬を実施します。紙パック・白色トレイ、使用済蛍光灯を役場で回収します。また、資源ごみの自主回収を実施する団体に対して、その回収量に応じた助成を行うとともに、生ごみ処理機の購入者に対して助成を行い、ごみ減量化とリサイクルの一層の促進に取り組みます。
- ・地域住民の皆さんが安心して生活できる環境を整備するため、平成19年度に策定した耐震改修促進計画に基づき個人木造住宅に対する耐震診断員の無料派遣などを実施します。

(主な事業)

(予算額)

新 庁舎耐震診断業務	840万円
新 大谷体育館耐震診断業務	389万円
拡 消防団運営事業	2,468万円
地区公民館活動事業	5,287万円
地区公民館管理事業	1,954万円
安全なまちづくり自主活動事業	50万円
路線バス運行経費	3,802万円
八日市布引ライフ組合(衛生センター、斎苑) 負担金	1億1,377万円
中部清掃組合(ごみ処理)負担金	1億3,863万円
ごみ収集経費	8,289万円
リサイクル促進事業(資源回収補助など)	314万円
木造住宅耐震診断員派遣事業	30万円
木造住宅耐震・バリアフリー改修事業	60万円
東近江行政組合(消防など)負担金	2億6,325万円
消防施設補助事業	85万円
防災活動事業	199万円



新 ……平成20年度新規事業

拡 ……平成20年度拡充事業



公共事業



◆町道の計画的な改良および維持補修を実施

◆着実な公共下水道整備事業の実施

◆3団地への水道拡張に伴う基本設計の実施

- ・生活に密着した町道の改良や維持補修を行うとともに、集落で実施される里道改良に補助します。また、日野町の取り組みが県事業に発展した、自治会による河川^{しみんぼつ}浚渫事業を引き続き実施します。
- ・地域再生法等を活用し、公共下水道事業を中山東、湖南サンライズ、日野第二工業団地などで実施します。
- ・五月台、椿野台、青葉台への町営水道の拡張に伴う基本設計を実施します。

(主な事業)	(予算額)
道路維持補修事業	1,769万円
町単独道路改良事業	2,530万円
道路改良工事県事業負担金	963万円
里道改良補助事業	500万円
急傾斜地崩壊対策事業	1,100万円
河川管理事業	418万円
水道事業会計繰出金	1,066万円
簡易水道特別会計繰出金	1,421万円
公共下水道事業特別会計繰出金	3億3,937万円
農業集落排水事業特別会計繰出金	9,500万円



人と人のつながりを大切に
みんなが住みよいまちにしましょう